

野國總管甘藷伝来420年記念事業の概況について

沖縄県嘉手納町では、1605年に甘藷を中国から日本にもたらした野國總管の遺徳を称え、その精神の継承と甘藷の発展に寄与するため、2005年に「野國總管甘藷伝来400年祭」を開催した。そして、50年に一度の祭典を着実に引き継ぐため、10年ごとに記念事業を実施することとしており、昨年の11月23日（日）、かでな文化センター・嘉手納町役場・嘉手納町中央公民館において、「沖縄県いもの日」関連行事と併せて野國總管甘藷伝来420年記念事業が以下のとおり開催された。

1. 沖縄県「いもの日」特別講演

沖縄を起点に北海道まで普及した甘藷は、近年、「焼きいも」ブームが東南アジアをはじめ、海外にも波及している。このような世界に向けた新たな展開について、一般財団法人いも類振興会の矢野理事長から紹介した。

2. 野國總管甘藷功労賞授与式典

記念事業では甘藷の発展に大きな功績を遺された個人を野國總管甘藷功労者として表彰している。甘藷功労賞の対象は日本国



野國總管甘藷功労賞の受賞者
左から、棚谷保男氏、狩谷昭男氏、澤岨カズ子氏、小巻克巳氏

民及び日本に在住する者で、甘藷、甘藷加工品及び甘藷の歴史に関する研究、開発、製品化などを行い、甘藷の発展にきわめてすぐれた功績を遺した個人とされており、今回は以下の4名が受賞した。

かりや あきお
狩谷 昭男（埼玉県：元 一般財団法人いも類振興会理事長）

たくしかずこ
澤岬カズ子（沖縄県：株式会社 御菓子御殿 代表取締役会長）

こまき かつみ
小巻 克巳（福島県：元 福島県農業総合センター所長）

たなや やすお
棚谷 保男（茨城県：元 なめがたしおさい農業協同組合代表理事組合長）

3. 野國總管甘藷フォーラム

冒頭、沖縄芋づるの会顧問の伊波勝雄氏が「野國總管とその時代」として基調講演を行い、甘藷が伝来した当時の野國總管や儀間真常らの功績を紹介した。続いて、「命

をつなぐいも～未来へ～」をテーマとしてパネルディスカッションを行った。コーディネーターは（株）琉球新報社報道部長の与那嶺松一郎氏で、パネラーとして以下のメンバーが参加し、県内で甘藷の生産が減少している現状を踏まえ、市場の拡大や文化の継承等の視点から今後の可能性を共有。さらなる発展に向けて教育の重要性や地域の独自性など、未来に向けて語り合った。

- ・ 矢野 哲男（一般財団法人いも類振興会理事長）
- ・ 岡田 吉弘（独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構九州・沖縄農業研究センター糸満駐在 主任研究員）
- ・ 山田英次（サツマイモまんが資料館&川越いも学校 館長）
- ・ ベーリ・ドウエル（サツマイモまんが資料館&川越いも学校 館長）
- ・ 金田富夫（なめがたしおさい農業協同組合 組合長）
- ・ 伊波 勝雄（オブザーバー）